



主な内容

特集—— 矢巾新病院敷地内への店舗棟の整備について

トピックス—— 第39回市民公開講座が行われました

フリーページ—— すこやかスポット薬学講座No.12

「骨代謝にはたらくプロトンポンプ
～プロトンポンプを標的とした創薬を目指して～」

表紙写真：矢巾キャンパスから眺める矢巾町夏まつりの花火

(撮影：薬学部5年 芳賀 聖さん)

矢巾新病院敷地内への店舗棟の整備について

企画部 総合移転計画事務室



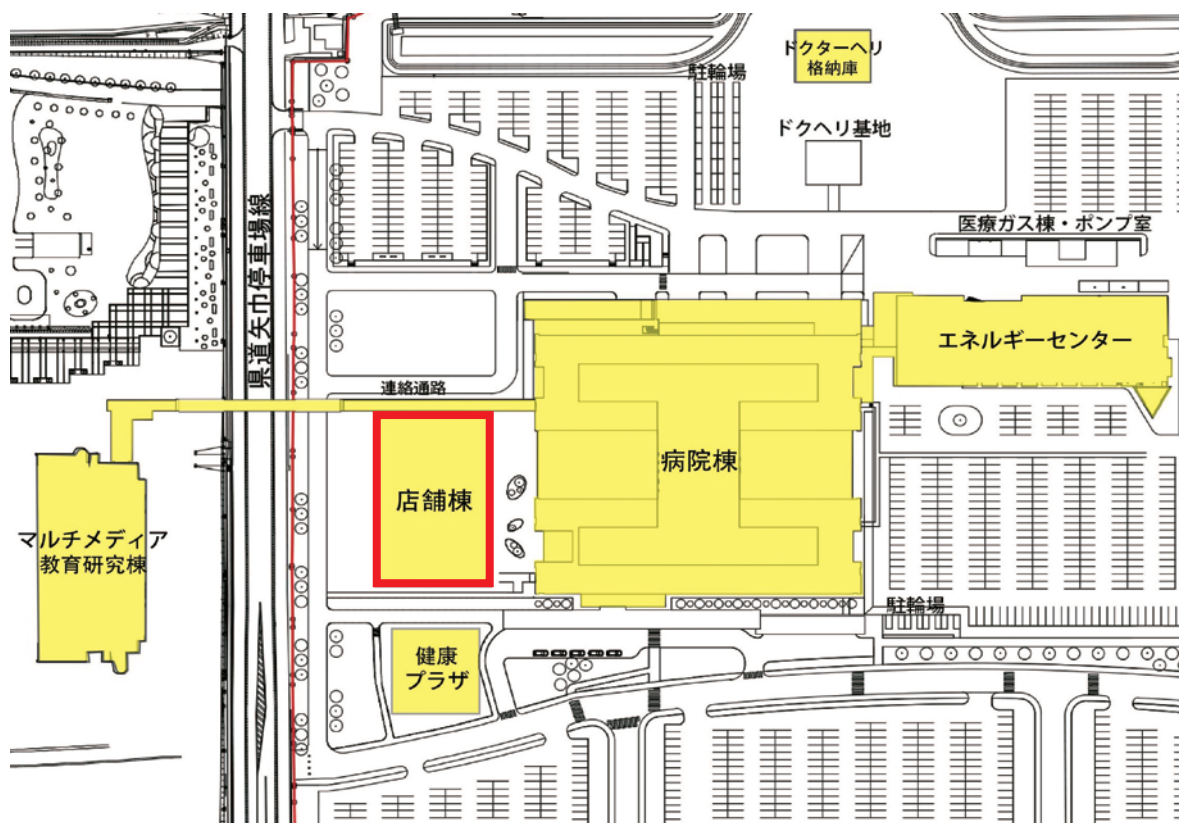
2019年9月の開院に向け矢巾新病院の新築工事が進められておりますが、この度、店舗棟の新築工事が着工しましたので、概要や図面、イメージ等についてご紹介いたします。

■ 店舗棟の概要

矢巾新病院の新築工事に伴い、教職員・学生の生活支援と福利厚生への向上に向けた環境づくりとして、また、患者さんをはじめ、大学・病院を利用される多くの方々の利便性向上を目的として店舗棟（仮称）を整備します。

また、「憩いと安心感のある賑わい空間の形成」や「矢幅駅からのまちなみを途切れさせない外観」にも配慮した計画としています。

■ 店舗棟配置図



■ 店舗棟 1 階

□ フードコートコンセプト

- ▶ 矢幅駅からのにぎわいの連続性を重視し、南面を全面サッシとすることで明るく開放的な空間を形成します。
- ▶ 病院、県道からアプローチしやすい動線を確保します。

1 階はレストラン、コンビニ、コーヒーショップなどが入り、350 席を確保したフードコート形態により、どんなでもご利用いただける施設となっております。また、2 階より上はセキュリティで管理を行います。

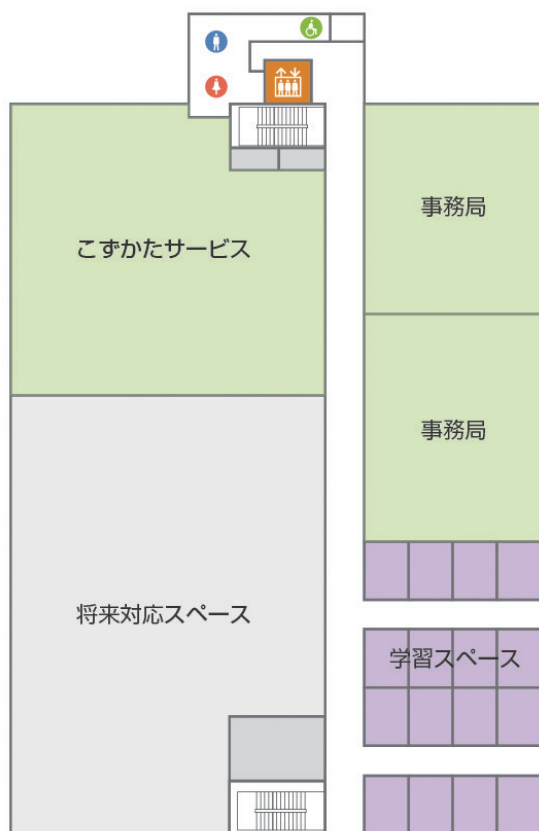


フードコートイメージ



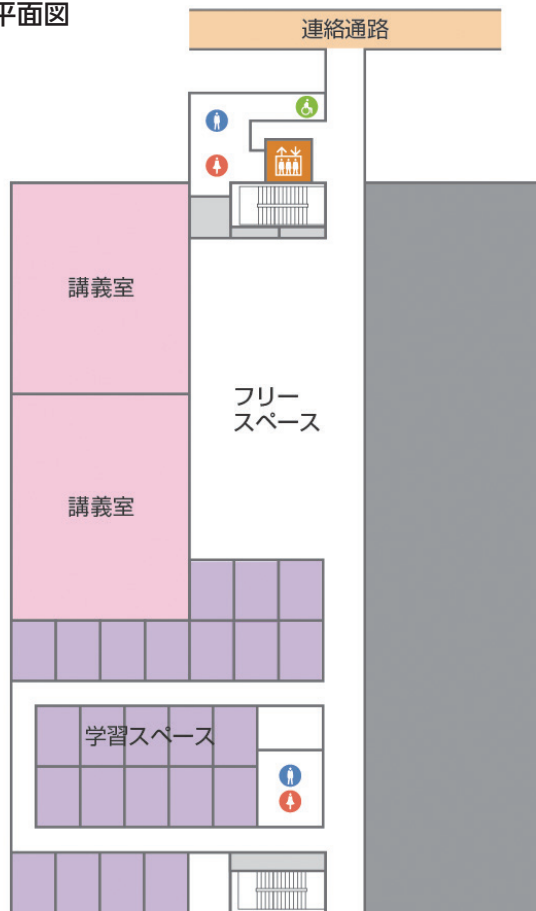
■ 店舗棟2階・3階

2階平面図



2階は大学事務局、学習スペースを整備し、将来対応スペースを確保しております。

3階平面図



3階は学生講義室、学習スペースを整備します。
また、店舗棟・マルチメディア棟・病院棟を接続する上空連絡通路の出入口が3階に整備されます。

■ 今後のスケジュール

店舗棟の建築工事は本年9月に着工し、2019年6月末に竣工します。入棟するテナント工事についても2019年6月より開始、2019年7月に完了となります。

	2018年（平成30年）						2019年（平成31年）									
工事区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
病院本体	本体病院工事												6月末 竣工	準備期間		9月 引越し開院
店舗棟		9月1日 着工	工事期間（10カ月）										6月末 竣工	テナント工事		

岩手医科大学附属病院 移転計画 ブログ



総合移転計画事務室では移転計画の進捗状況の記録及び外部へ公表することを目的とし、「岩手医科大学附属病院 移転計画ブログ」を公開しております。今後、リアルタイムに移転計画の情報発信をしていきたいと考えておりますので、是非ご覧ください。<https://iten-iwate-med.blogspot.com/>



1階防災センターの内装



2階サービスヤード等へ続くスロープ

■ 病院工事外観進捗状況

矢巾新病院の工事は7月25日に上棟が完了しており、南側（マルチメディア棟側）の足場が解体され、上空連絡通路の工事が開始されました。病院棟の内装仕上工事が3階まで達しております。



<マルチメディア棟側から撮影>



<ドローンで南東側から撮影>

撮影日：2018年9月11日

■ 平成31年度入学試験日日程が決まりました

平成31年度岩手医科大学入学試験日程

医学部	区 分		募集人員 (127名)	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
	推 薦	一 般	15名	10月29日(月)～11月7日(水)	11月17日(土)	11月26日(月)	12月7日(金)	本学(矢巾)
		地域枠	15名					
	一 般	一 次	90名	12月10日(月)～1月11日(金)	1月23日(水)	1月28日(月)	—	本学(矢巾)・東京・札幌・名古屋・大阪・福岡
		二 次			2月1日(金) 2月2日(土) ※どちらか1日を選択	2月6日(水)	2月13日(水)	本学(矢巾)・東京・大阪
	学 士 編 入 学	一 次	7名	1月28日(月)～2月8日(金)	2月19日(火)	2月22日(金)	—	本学(内丸)
		二 次			2月25日(月)	2月28日(木)	3月6日(水)	

歯学部	区 分		募集人員 (57名)	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
	推 薦	一 般	15名	10月29日(月)～11月7日(水)	11月18日(日)	11月26日(月)	12月7日(金)	本学(矢巾)
		指定校						
		同窓生※						
	一 般	前 期	25名	1月4日(金)～1月31日(木)	2月8日(金)	2月18日(月)	2月25日(月)	本学(矢巾)・東京・大阪・仙台・札幌
		後 期	7名	2月25日(月)～3月8日(金)	3月18日(月)	3月22日(金)	3月27日(水)	本学(矢巾)・東京
	センター 利 用	前 期	7名	1月4日(金)～1月18日(金)	2月8日(金)	2月18日(月)	2月25日(月)	本学(矢巾)・東京・大阪・仙台・札幌
		後 期	3名	2月25日(月)～3月8日(金)	3月18日(月)	3月22日(金)	3月27日(水)	本学(矢巾)・東京
	編 入 学	前 期	若干名	10月29日(月)～11月7日(水)	11月18日(日)	11月26日(月)	12月7日(金)	本学(矢巾)
		後 期	若干名	2月25日(月)～3月8日(金)	3月18日(月)	3月22日(金)	3月27日(水)	

薬学部	区 分		募集人員 (120名)	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
	推 薦	一 般	40名	10月29日(月)～11月7日(水)	11月18日(日)	11月26日(月)	12月7日(金)	本学(矢巾)
		指定校						
		同窓生※						
		社会人 帰国子女						
	一 般	前 期	60名	1月4日(金)～1月31日(木)	2月8日(金)	2月18日(月)	2月25日(月)	本学(矢巾)・東京・仙台・秋田・青森
		後 期	10名	2月25日(月)～3月8日(金)	3月18日(月)	3月22日(金)	3月27日(水)	本学(矢巾)・東京
	センター 利 用	前 期	7名	1月4日(金)～1月18日(金)	—	2月18日(月)	2月25日(月)	—
		後 期	3名	2月25日(月)～3月8日(金)	—	3月22日(金)	3月27日(水)	—

看護学部	区 分		募集人員 (95名)	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
	推 薦	一 般	30名	10月29日(月)～11月7日(水)	11月18日(日)	11月26日(月)	12月7日(金)	本学(矢巾)
		社会人	若干名					
		同窓生※	若干名					
	一 般	前 期	55名	1月4日(金)～1月31日(木)	2月12日(火)	2月18日(月)	2月25日(月)	本学(矢巾)・青森・秋田・仙台・函館
		後 期	5名	2月25日(月)～3月8日(金)	3月18日(月)	3月22日(金)	3月27日(水)	本学(矢巾)
	編入学		5名	10月29日(月)～11月7日(水)	11月18日(日)	11月26日(月)	12月7日(金)	本学(矢巾)

※歯・薬・看護学部の同窓生子女特別入学試験の入試要項および出願書類については、別途配布いたしますので、岩手医科大学入試センター事務室までお問い合わせ下さい。

歯科衛生学科	推薦入試 社会人入学試験(1期)	一般入学試験(1期) 社会人入学試験(2期)	一般入学試験(2期) 社会人入学試験(3期)	一般入学試験(3期) 社会人入学試験(4期)	一般入学試験(4期) 社会人入学試験(5期)	一般入学試験(5期) 社会人入学試験(6期)
募集人数	40名(一般・社会人入学試験選考含む)					
出願期間	10月9日(火)～ 10月23日(火)	11月6日(火)～ 11月20日(火)	12月5日(水)～ 12月19日(水)	1月16日(水)～ 1月30日(水)	2月6日(水)～ 2月20日(水)	3月1日(金)～ 3月15日(金)
試験日	10月27日(土)	11月24日(土)	12月22日(土)	2月2日(土)	2月23日(土)	3月20日(水)
合格発表	11月1日(木)	11月29日(木)	12月27日(木)	2月7日(木)	2月27日(水)	3月22日(金)
手続締切	11月15日(木)	12月13日(木)	1月17日(木)	2月21日(木)	3月8日(金)	3月27日(水)

※詳細は入試要項またはホームページをご確認ください。

トピックス Topics

医療専門学校歯科衛生学科のオープンキャンパスが開催されました

平成30年度岩手医科大学医療専門学校歯科衛生学科のオープンキャンパスが7月28日(土)、8月4日(土)、8月18日(土)、9月22日(土)に医療専門学校において開催され、高校生や保護者約80名が参加しました。

当日は、歯科衛生士の職業紹介や体験実習、推薦入試・一般入試対策講座、在学生とのフリートークの他、設備見学などが行われ、参加者は実際に来校しなければ分からない本校の魅力を感じていたようでした。



第39回市民公開講座が行われました

今年で39回目を迎える市民公開講座（テーマ：未来につながる現在の医療と健康科学）が、7月31日（火）から3日間にわたり矢巾キャンパス大堀記念講堂で行われました。

今年の市民公開講座は、5講座が開講され、延べ469名の一般市民の方々が受講しました。受講者は熱心に聴講し、貴重な学習の機会となったようです。

▶ 7月31日（火）

『知ってもらいたい、子どもたちの口と歯のこと』

歯学部 口腔保健育成学講座
小児歯科学・障害者歯科学分野
森川 和政 教授



▶ 8月1日（水）

『こころの健康とウェルビーイングーポジティブ心理学入門ー』

教養教育センター 人間科学科
心理学・行動科学分野
藤澤 美穂 助教



『サハラ以南アフリカ(西アフリカ)の保健医療の現状とマラリア対策』

看護学部 成育看護学講座
高橋 亮 教授



▶ 8月2日（木）

『薬の上手な使い方』

薬学部 臨床薬学講座
地域医療薬学分野
高橋 寛 教授



『肺がん治療の進歩ー分子標的薬治療と免疫療法ー』

医学部 内科学講座
呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野
前門戸 任 教授



体験学習イベント「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI」が行われました

8月4日（土）、矢巾キャンパスで体験学習イベント「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI」が行われ、岩手県内外の中高生15名が参加しました。

このイベントは、日本学術振興会が実施している科学研究費助成事業（科研費）の研究成果を社会へ還元・普及するとともに、将来を担う生徒の科学実験に対する興味を促進させ、科学・薬学の発展に寄与することを目的として開催されました。



今年は「香りの化学2018～酵素のチカラをかりて分子のカタチを区別しよう～」と題し、薬学部薬科学講座創薬有機化学分野の辻原哲也助教により、有機化学に関する基礎講義や分子の香りの違いを体験する実験が行われました。

当日は、パッションフルーツの香りやフローラルの香りをもつ分子のペアをターゲットとして、酵素のチカラを借りて一方を区別して合成する実験を行い、香りの違いを確かめました。参加した生徒は、実験に熱心に取り組み、化学の世界について楽しく学んでいる様子でした。



災害保健医療従事者研修が行われました

平成30年8月9日（木）、矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センターにおいて、災害保健医療従事者研修が行われました。

この研修は、被災者の健康調査や健康指導を行う保健師、看護師、薬剤師、栄養士などの医療従事者や県医師会が編成する医療救護班（JMAT）、行政の保健・災害医療担当の職務に従事される方々を対象に、災害医療に関する基礎知識の習得と実践力の強化を目的として行われました。今回は県内の市町村、保健所、病院などから23名が参加し、本学からも5名が受講しました。



当日は、眞瀬智彦災害時地域医療支援教育センター長による災害医療・災害保健活動に関する講義や、同センターの藤原弘之助教による災害情報整理分析シミュレーションが行われ、災害時の保健医療活動に伴う情報整理のポイントなどを学びました。



キッズキャンサーセミナーが行われました

8月18日（土）、矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センターにおいて、キッズキャンサーセミナーが行われ、盛岡市・北上市の小学生23名並びにその保護者が参加しました。



この催しは、小学校高学年を対象に、「がん」についての基本的教育を行い「がん」という疾患への理解を深めるとともに、受講生やその家族への情報の浸透を目的として行われました。

当日は、木村祐輔特任教授（緩和医療学科）による基礎講義の他、鶏肉を使った外科手術体験やトレーニングマシンによる内視鏡の手技体験、調剤体験などが行われ、参加した小学生は、普段目にするのことがない医療の現場に興味津々の様子でした。

受講後のアンケートでは、「将来、医療の道に進みたいと思っているので、その一歩となってよかった」といった感想が寄せられました。



白石 博久 「大学周辺のお店めぐり りんご畑の中のカフェ mi cafe (ミ カフェ)」 presents

矢巾キャンパスがスタートした2007年の秋にオープンしたカフェですので、すでに馴染みの方もいらっしゃるかと思います。国道396号線沿い、盛岡市黒川の松本りんご園さんの果樹園に囲まれた小高い丘の中腹にある、落ち着いたログハウス。盛岡市内を見渡せるテラスからは、右手に岩手山、正面に南昌山、左手には矢巾キャンパスも一望でき、晴れた日にオリジナルのリンゴジュースや手製のデザートゆっくり味わいながら過ごすひとときは心を穏やかにしてくれます。四季折々の景観やイベント、メニューなどは「micafe 盛岡」で検索して、お店のブログ (<http://micafe.blog.shinobi.jp>) 等をご覧ください。ちなみに、店名の「mi」には、りんごの「実」「味」の他、お聞きしただけでも7つ以上の様々な思いが込められているそうです。お店で感じるみなさんの「mi」をぜひ探してみてください。



ピンク色のリンゴジュースとブラックベリーのタルト (右手奥は岩手山)



盛岡市の夜景をバックに室内楽コンサート (素敵な音響空間！)

理事会報告 (7月定例ー7月30日開催)

1. 教員の人事について

医学部形成外科学講座 教授
櫻庭 実 (前 同講座 講座内教授)
(発令年月日 平成30年8月1日)
教養教育センター情報科学科医用工学分野 教授
高橋 史朗 (前 東北大学病院臨床研究推進センター 特任准教授)
(発令年月日 平成30年9月1日)

2. 附属病院長候補者選考会議外部委員の選任について

宮田 剛 (岩手県立中央病院 病院長)
野原 勝 (岩手県保健福祉部技監兼副部長兼医療政策室長)
(委嘱期間 平成30年8月1日～平成31年3月31日)

3. 矢巾・内丸地区の救急医療体制について

シリーズ 職場めぐり

No.127

キャリア支援センター事務局

キャリア支援センターは、本学学生の社会的自立に向けた実践的な能力形成と就職活動、進路決定の支援を目的として、平成22年4月に設置された組織です。センター組織は、センター会議と下部組織である薬学部、看護学部、事務局から構成されます。各部会は支援内容の検討などを行い、事務局は現在4名体制でその実務にあたっております。

医学部および歯学部の卒業生は、国家試験合格後すぐに臨床研修に進むことから、当センターでは、主に薬学部及び看護学部の学生を対象として支援事業を展開しております。具体的には、進路ガイダンス、業種研究講演会、インターンシップ、公務員試験対策、合同企業説明会、個別相談などにより学生の皆様を支えております。

就職活動では、学生有利の売り手市場が続いております

すが、就職難になったとしても学生の皆様一人一人が納得のいく就職ができるよう、これからもスタッフ一同、誠心誠意を尽くしてまいります。

(事務室長 井上 拓也)



内部監査室

内部監査室は、内部監査を通じて本学の業務諸活動を公正・独立の立場で評価し、本学の健全な運営を確保するため、平成22年度に設置された組織です。

現在、内部監査室長以下5名で、毎年度の監査計画に基づき、本学の内部統制が適切に機能し、業務運営が有効かつ効率的に運用されるよう監査を実施しております。

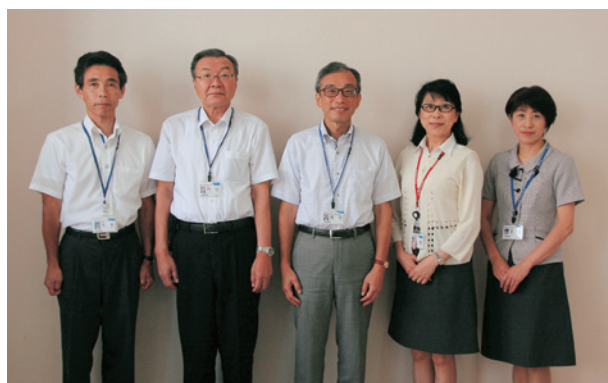
一般に、監査と言えば、“指摘される”とか“重箱の隅をつつかれる”といったイメージを持たれがちですが、当室では、法令違反や本学に重大な損害を与える場合等は別にして、各部署の業務運営上の課題や問題の“見える化”とその解決に向けた助言・提言にも力を入れておりますのでご理解願います。

このほか、当室では、監事監査の補助や公益通報の窓口業務等を通じて本学の健全な発展に資すべく努力し

ているところです。

今後とも、こうした当室の業務への皆様のご協力をお願いいたします。

(次長 門口 正雄)



《岩手医科大学報編集委員》

小川 彰	佐藤真結美
影山 雄太	菊池 初子
松政 正俊	工藤 正樹
齋野 朝幸	熊谷 佑子
藤本 康之	安保 淳一
白石 博久	佐々木忠司
成田 欣弥	畠山 正充
遊田由希子	藤村 尚子
佐藤 仁	武藤千恵子
小坂 未来	高橋 慶
藤澤 美穂	

編集後記

矢巾新病院の開院までいよいよ1年となりました。先日花巻に行った際、矢巾キャンパスに立ち寄り矢巾新病院の状況を見てきました。足場が外れ、外装が見えてきた新病院のレンガ色が青い空と遠くの山の緑に映えとてもきれいでした。開院が待ち遠しいです。

さて、今回の特集はそんな矢巾新病院の敷地内にできる店舗棟の整備についてです。来院される患者さんはもちろんのこと地域の方々にも楽しんでいただけるようなお店がたくさん入る予定です。岩手医大が皆さんの憩いの場になることでしょう。

(編集委員 熊谷 佑子)

岩手医科大学報 第504号

発行年月日 平成30年9月30日

発行 学校法人岩手医科大学

編集委員長 小川 彰

編集 岩手医科大学報編集委員会

事務局 企画部 企画調整課

盛岡市内丸19-1

TEL. 019-651-5111 (内線7023)

FAX. 019-624-1231

E-mail: kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7

TEL. 019-623-4256

E-mail: office@kahoku-ipm.jp

スポット薬学講座

生物薬学講座機能生化学分野 教授 中西 真弓

骨代謝にはたらくプロトンポンプ
～プロトンポンプを標的とした創薬を目指して～

薬は、標的とする特定の生体分子に作用することで効果を表します。創薬を考えると、どの生体分子を標的とするか、その見極めが重要です。最近、当分野では、液胞型プロトンポンプATPase (V-ATPase) が破骨細胞で二重の機能を果たしていることを発見しました。骨代謝異常症の新規治療法の開発に向けて、V-ATPaseが良い標的になるのではないかと期待しています。

破骨細胞は複数の前駆細胞が融合した多核の細胞で、分泌リソソームと呼ばれる機構を介して骨を分解・吸収します。骨吸収は、骨のリモデリングや骨密度の維持に役立ちますが、行き過ぎれば骨粗鬆症を発症します。リソソームは、不要物を消化する細胞内小器官で、多くの場合は細胞の中に留まっていますが、破骨細胞では細胞膜へ向かって移動し、細胞膜と融合することでリソソーム酵素を細胞外へ放出します。

V-ATPaseは、ATPの加水分解で得られるエネルギーを使って膜を介してプロトン（水素イオン）を輸送します。局在する細胞内小器官や細胞により構造が少しずつ異なっています。以前、我々は、破骨細胞には特別な構造のV-ATPaseが存在していることを示しました。分泌リソソームにより、この特別なV-ATPase

が細胞膜へ輸送され、リソソーム酵素がはたらきやすい酸性の環境を形成します。さらに、V-ATPaseの2つ目の役割として、分泌リソソームが細胞膜に向かって移動するときにも機能していることを見出しました。通常は移動しないリソソームが外向きに移動するためには、多くの調節因子がリソソームに集まる必要があります。V-ATPaseは、これらの中で核となるタンパク質と直接結合し、そのタンパク質が安定にリソソームに留まるのを助けていることを明らかにしました。V-ATPaseというプロトン輸送が注目されがちですが、興味深いことに、細胞内小器官の移動においても必須の役割を持っていたのです。さらに、破骨細胞のものと共通の構造を持つV-ATPaseが、がん細胞の転移能に関与することが示されつつあります。また、細胞障害性T細胞やインスリン分泌細胞においても、分泌リソソームと類似の仕組みが機能することが示唆されています。

V-ATPaseの阻害剤として良く知られているバフィロマイシンA1は、僅かな構造の違いは認識せず全てのV-ATPaseを阻害するため、細胞毒性が強く治療薬には適しません。骨代謝異常症の新規治療薬の開発には、破骨細胞に特有なV-ATPaseに特異的に作用する化合物が有望であると考えています。

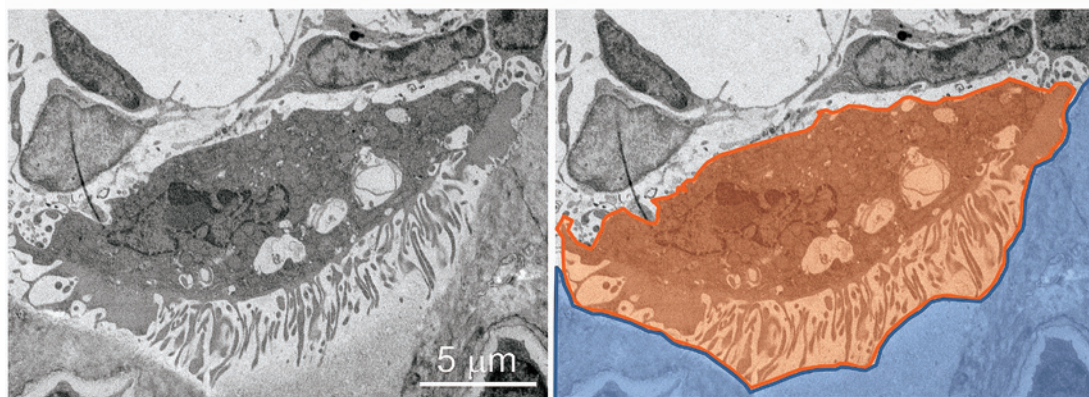


図) マウス上腕骨（水色）に張り付き骨吸収している破骨細胞（オレンジ）の電子顕微鏡像